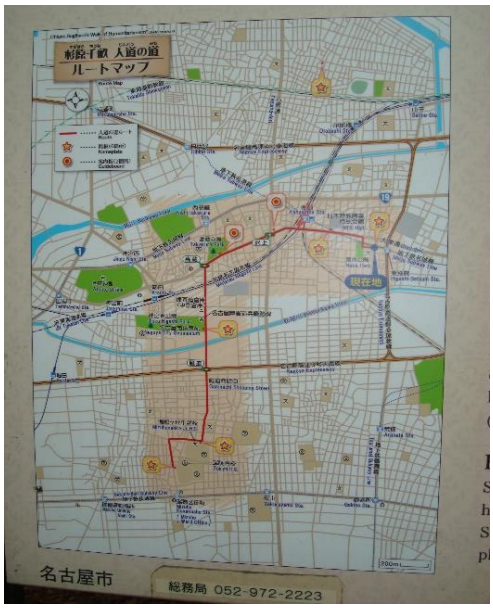
「杉原千畝人道の道」を歩いて来ました

ニーゴー会 24 期 国際 星崎学区 森　晴生

今回は、「命のビザ」で知られています、杉原千畝氏の幼少期名古屋で過ごされた約１０年間の足跡を訪ねてみました。

杉原千畝氏は、皆様ご存じのとおり、１９００年（明治３３年）に岐阜県で生まれ、お父さんの仕事の都合で、小学校低学年の時名古屋市古渡尋常小学校（現在の名古屋市立平和小学校）に転校してきました。



尋常小学校卒業後は愛知県立第五中学校（現在の愛知県立瑞陵高校）に進学し卒業をしました。中学校時代は、中川区の五女子で下宿をして通学をしていました。（下宿先跡地に銘板が設置されています）

今回は、通常歩きますコース（東別院から杉原千畝広場センポ・スギハラ・メモリアル迄を「杉原千畝人道の道」と名付けられています。）とは逆のコースを辿ってみました。瑞穂区役所で集合をして、杉原千畝広場で足跡を見聞し、瑞穂ヶ丘中学校（旧第五中学校跡地）校庭にある銅像「勇気（１６歳時の千畝氏）」を見て、五中街道（路面電車の高蔵駅を降りた五中の生徒さん達が通われていたことから「五中街道」と呼ばれるようになりました。）を進み、所々に設置されている銘板或いは案内板を見聞きしながら、雁道商店街を通り抜け名古屋市体育館から神宮東公園、陸軍名古屋工廠熱田兵器製作所跡、中京倉庫の煉瓦作りの倉庫を見ながら、当時に思いを馳せながら東別院迄歩を進めました。

歩きながら感じた事は、路面電車の高蔵駅から毎日歩いてこの距離を通われていた五中の生徒さん達に感服をしました。参加された皆様、お疲れ様でした。